

外付け型 ポータブルDVDユニット ハードウェアマニュアル

このたびは弊社製外付け型ポータブルDVDユニットをお求めいただき、まことにありがとうございました。
このオンラインガイドでは、製品の取り扱い上の注意事項、対応メディア、使用環境について説明しています。
下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

製品の特徴

使用環境について

使用上のご注意

オプション品について

デバイス名について

ハードウェア仕様

対応メディアについて

保証とサービスについて

Q&A よくある質問

製品の特徴

LDR-PMB8U2は、DVD-RAM、1層 DVD+R、2層 DVD+R、DVD+RW、1層 DVD-R、DVD-RWの各メディアへの書き込みに対応したUSB 2.0 High-Speed 接続タイプのDVD-RAM ± R/RW (DVDスーパーマルチ)ドライブユニットです。

LDR-PMB8U2は以下の「11種類」のメディアを使用することができます。

ACアダプタ動作時

メディア	対応速度	メディア	対応速度
DVD-RAM	5 倍速 書き換え	DVD- RW	6 倍速 書き換え
2層 DVD+ R	2.4 倍速 書き込み	CD- R	24 倍速 書き込み
1層 DVD+ R	8 倍速 書き込み	CD- RW	24 倍速 書き換え
DVD+ RW	8 倍速 書き換え	DVD- ROM	最大 8 倍速 読み込み
2層 DVD- R	4 倍速 書き込み	CD- ROM	最大 24 倍速 読み込み
1層 DVD- R	6 倍速 書き込み		

USBバスパワー動作時

メディア	対応速度	メディア	対応速度
DVD-RAM	3 倍速 書き換え	DVD- RW	3 倍速 書き換え
2層 DVD+ R	2.4 倍速 書き込み	CD- R	16 倍速 書き込み
1層 DVD+ R	3 倍速 書き込み	CD- RW	16 倍速 書き換え
DVD+ RW	3 倍速 書き換え	DVD- ROM	最大 4 倍速 読み込み
2層 DVD- R	4 倍速 書き込み	CD- ROM	最大 12 倍速 読み込み
1層 DVD- R	3 倍速 書き込み		

DVDメディア、CDメディアとも書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。

DVDビデオフォーマットで書き込んだDVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアは、市販のDVDプレーヤーでの再生が可能です。

DVDビデオ作成のため、DVDオーサリングソフト、PCデータ保存のためのライティングソフト、DVD再生ソフトが添付されています。

2層DVD+Rメディアに対して「DVDビデオ」として書き込みを行った場合、および「DVD-ROM互換」のDVDを追記不可で書き込みを行った場合には、メディアタイプを「DVD+R DL」から「DVD-ROM」へと変更することにより、再生互換性をより高いものにしています。

付属ソフトの「DLA」は、「DVD-RAM用UDFドライバ」を含んでいますので、DVD-RAMメディアを「UDFフォーマット」で使用することができます。MOメディアなどと同様に、マイコンピュータ/エクスプローラ上で読み書きすることができます。高速アクセスが可能ですので、大容量メディアを更に便利に使用することができます。

注意事項

- ・市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- ・市販のDVDプレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオが再生可能かどうかは、ご使用のDVDプレーヤのマニュアルをご確認ください。
- ・著作権保護機能（CSS、CPPM、CPRM等）やコピー防止機能（COPY CONTROL CD等）が付加されているメディアは複製できません。
- ・パケットライトソフトウェア「DLA」でDVD+RWメディア、DVD-RWメディアに書き込まれたデータは、それぞれのメディアへの書き込みに対応した製品以外のドライブでは読み出すことができません。これはDVD+RWメディアへの書き込みには「Random Write方式」が、DVD-RWには「Restricted Overwriting方式」が使用されているためです。
- ・本製品で作成するDVDビデオのリージョンコードは「ALL」となります。また、本製品はフェーズ2仕様のドライブであるため、本製品で再生できるDVDビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。
- ・DVDメディアにはラベル、シール等を貼付しないでください。偏重心を起こし、メディアが正常に読み込めなくなる場合があります。
- ・USBバスパワーでの読み書きに対応する機種については弊社ホームページをご参照ください。

使用上のご注意

ここでは製品の取り扱いについての注意事項についてご説明いたします。
参照したい項目をクリックしてください。

接続の際の注意

メディアの取り扱いについて

DVD-RAM メディアについて

メディアのセットと取り出し

本製品の取り外しについて

接続の際の注意

本製品をパソコンに接続する際は以下の点にご注意ください。

- ・ 本製品はUSBバスパワー対応ですが、パソコンや動作環境によって動作しない場合があります。そのような場合は付属のACアダプタ、あるいはY型USBケーブルを使用して下さい。
- ・ パソコン本体への接続は、USB 2.0ポートへ接続することをお勧めします。USB 1.1ポートでの使用も可能ですが、その場合、データ転送速度はFull-Speed (12Mbps) までとなり、DVDビデオの再生は行えません。USB 1.1接続で対応する機能はCD-R、CD-RWメディアへの読み込み / 書き込み、DVDメディアへのデータの書き込み、DVD-ROM、CD-ROMの読み込みのみとなります。また、CD-R/RWメディアへの書き込み / 読み込み速度は最大8倍速相当までに、DVDメディアへの書き込み、DVD-ROMの読み込みは標準速未満に制限されます。
- ・ 本製品はUSB ハブ経由では接続しないでください。USB ハブを経由して接続すると正常に動作しません。
- ・ 複数のUSB機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・ 本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものが、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。USB 1.1ポートへ接続し使用する場合も、なるべく本製品付属のものが、USB 2.0対応ケーブルをご使用ください。

メディアの取り扱いについて

正しい取り扱いをしないと、データの書き込みが正常に行われず、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、等の障害が発生する場合があります。

メディアの取り扱いについては、本ハードウェアマニュアルやご使用のメディアの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。メディアの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合があります。

本製品の使用、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

取扱い上のお願い

メディアをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときはメディアのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。

メディアは指でメディア中央の部分の穴の部分と外側の部分をはさむようにして持ってください。

メディアの記録面には触らないでください。メディアは印刷されていない方が記録面となります。

メディアの表面はゴミやほこり、指紋などで汚したり傷つけたりしないでください。

また、落としたり曲げたり、紙を貼ったりしないでください。(書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因となります。)

メディアの印刷面になるタイトル欄に文字などを書込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の固いものは、使用しないでください。

メディアが汚れた場合は、市販の専用クリーナーでクリーニングをしてください。ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りのクリーナー等、指定以外のものは使用しないでください。

キズや汚れからメディアを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケースに収めてください。

メディアを落としたり、重ねたり、また、メディアに物を乗せたり、衝撃を与えたりしないでください。メディアに無理な力を加えると、データの信頼性を保てなくなります。

メディアのドライブへのセット方法は「メディアのセットと取り出し」をご参照ください。

次のような場所には置かないでください。

ゴミやほこりの多い場所。

温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。

温度差の激しい場所。(結露が生じます)

DVD-RAM メディアについて

DVD-RAM ディスクの種類

DVD-RAMは、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAMメディアには以下のタイプがあります。

- TYPE1** : カートリッジからメディアの取り出しはできません。(本製品では使用できません)
- TYPE2** : 片面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)
- TYPE4** : 両面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)

カートリッジなしタイプのDVD-RAMディスクも市販されています。

TYPE2、TYPE4 DVD-RAM メディアの取り扱い

次のような所には置かない

ゴミやほこりの多い場所。

温度、湿度の高いところ、直射日光のあたる所。

温度差の激しい所

取扱い上のお願い

メディア表面に触れない。

落としたり、曲げたり、重いものを乗せない。

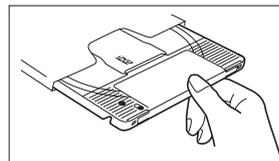
はがしたラベルを再度貼らない。

使用しないときはカートリッジに収めケースに入れて保管する。(右図)

定期的にバックアップ(データの複製)を行う。

大切なデータを保護するときはカートリッジ収納時に「書き込み禁止」にしておく(右図)

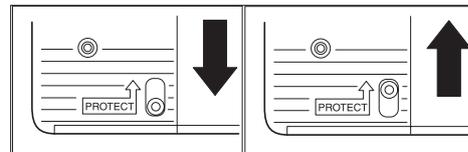
ただし、このようにしている場合もカートリッジから取り出した際に書き込みを制限できるものではありません。



図

書き込み可能

書き込み禁止



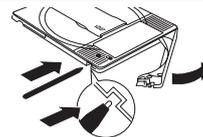
図

TYPE2 カートリッジからメディアを取り出す場合

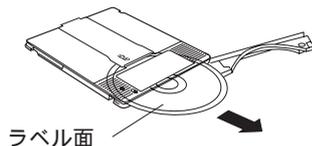
- 1** カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。



メディアを収納するときは

カートリッジのデザイン面とメディアのレーベル面を同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。開閉フタを閉じた後ライトプロテクト(書き込み禁止・許可)の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水(油) 滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

レーベル面への文字の書き込みは柔らかい油性のフェルトペンを使用し、ボールペン、鉛筆などの先の固い筆記具は使用しないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

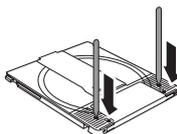
メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

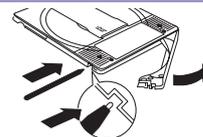
メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

TYPE4 カートリッジからメディアを取り出す場合

- 1** カートリッジのロックピン（2ヶ所）を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



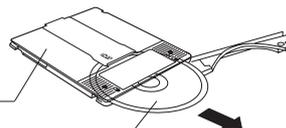
- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。

1. カートリッジ A 面と

2. SIDE A 面が同じ方向



メディアを収納するときは

カートリッジのA面とメディアのSIDE Aを同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。開閉フタを閉じた後ライトプロテクト（書き込み禁止・許可）の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

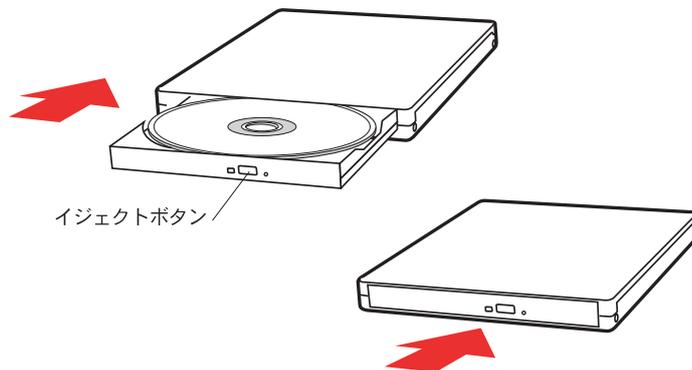
メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

メディアのセットと取り出し

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でタイトルなどが印刷されている面を上にして、トレイにセットしてください。
メディアを取り出す際は、マイコンピュータ上から本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「取り出し」を実行してください。



ご注意

- ・本製品でカートリッジ付きDVD-RAMメディアをご使用になる場合は、カートリッジから取り出して直接メディアを本製品にセットしてください。TYPE1のDVD-RAMメディアはカートリッジからメディアの取り出しはできませんので、本製品では使用できません。
- ・本製品は名刺タイプなどの規格外のメディアは対応しておりません。これらのメディアは使用しないでください。
- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・DVDメディアにはラベルを貼付しないでください。
- ・メディアにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーンでエアを吹き付けて、メディアの清掃を行ってください。
- ・Windows環境では、セットしたメディア内のファイルが開いている状態ではメディアを排出することができません。

本製品の取り外しについて

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用しているUSB機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

上記の点を確認したら、次ページで記す手順でアンプラグ操作を行ってから、本製品の取り外しを行ってください。

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。(ここで表示される項目の内容は使用 OS によって異なります。)



表示されるメッセージ

Windows XP の場合

「USB大容量記憶装置デバイス-ドライブ(*)を安全に取り外します。」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(*) を停止します」

いずれの場合も(*)の部分は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

USB ケーブル、AC アダプタを取り外してください。

デバイス名について

LDR-PMA8U2のデバイス名（OSから認識される名前）は、以下の通りです。
ソフトウェアから、ドライブを指定する際は、下記の名称を選択してください。

OS	項目	登録されるデバイス名
Windows XP	DVD/CD-ROMドライブ	QSI DVD-RAM SDW-086 USB device
	USB(Universal Serial Bus)コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
Windows 2000	DVD/CD-ROMドライブ	QSI DVD-RAM SDW-086 USB device
	USB(Universal Serial Bus)コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス

対応メディアについて

対応メディア (DVD-RAM)

容量	メディア対応速度	書き込み速度	読み込み速度
片面 4.7 GB 両面 9.4 GB	5 倍速対応 Ver.2.2 /5 X -SPEED DVD-RAM Revision 2.0	5 倍速	最大 5 倍速
	3 倍速対応 Ver.2.1 /3 X -SPEED DVD-RAM Revision 1.0	3 倍速	最大 5 倍速
	2 倍速対応 Ver.2.1	2 倍速	最大 5 倍速

Type1のDVD-RAMメディアは使用できません。Type2、Type4のDVD-RAMメディアはカートリッジから取り出してご使用ください。

12倍速対応「DVD-RAM Ver.2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0」には対応していません。本製品では、このメディアはご使用にならないでください。

対応メディア (DVD-RAM 以外)

メディア名	容量	書き込み速度	読み込み速度
2層 DVD+ R	8.5 GB	2.4 倍速	最大 6 倍速
1層 DVD+ R	4.7 GB	8 倍速、6 倍速、4 倍速、2.4 倍速	最大 8 倍速
DVD+ RW	4.7 GB	8 倍速、6 倍速、4 倍速、3.3 倍速、2.4 倍速	最大 6 倍速
2層 DVD- R	8.5 GB	4 倍速、2 倍速	最大 6 倍速
1層 DVD- R	4.7 GB	6 倍速、4 倍速、2 倍速、標準速	最大 8 倍速
DVD- RW	4.7 GB	6 倍速、4 倍速、2 倍速、標準速	最大 6 倍速
DVD- ROM 1層	4.7 GB	—	最大 8 倍速
DVD- ROM 2層	8.5 GB	—	最大 6 倍速
CD- R		24 倍速、20 倍速、16 倍速、10 倍速、4 倍速	最大 24 倍速
CD- RW		24 倍速、20 倍速、16 倍速、10 倍速、4 倍速	最大 24 倍速
CD- ROM		—	最大 24 倍速

すべて USB 2.0 接続時の理論値です。USB 1.1 接続時は、「DVD メディアへの書き込み / 読み込み」が標準速未満「CD メディアへの書き込み / 読み込み」が最大 8 倍速に制限されます。また、DVD メディアへのビデオの書き込み / 読み込みは未対応となります。

DVD-RAM 以外のメディアへ書き込みを行う際、ドライブ側ではベリファイを行いません。データの書き込みを行った後は、念のため読み込みを行ってメディアに正しくデータが書き込まれていることをご確認ください。

ご注意

DVDメディア/CDメディアともに書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。

DVD メディアにはラベルなどを貼り付けしないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。

推奨メディアメーカー

メディア名	推奨メディアメーカー
DVD- RAM	日立マクセル株式会社、松下電器産業株式会社
2層 DVD+ R	三菱化学メディア株式会社、株式会社リコー
1層 DVD+ R	ソニー株式会社、太陽誘電株式会社、TDK株式会社 日立マクセル株式会社、三菱化学メディア株式会社、株式会社リコー
DVD+ RW	ソニー株式会社、三菱化学メディア株式会社、株式会社リコー
2層 DVD- R	三菱化学メディア株式会社
1層 DVD- R	ソニー株式会社、太陽誘電株式会社、TDK株式会社、 日立マクセル株式会社、三菱化学メディア株式会社
DVD- RW	日本ビクター株式会社、三菱化学メディア株式会社
CD- R	ソニー株式会社、太陽誘電株式会社、TDK株式会社 日立マクセル株式会社、富士写真フイルム株式会社 三菱化学メディア株式会社、株式会社リコー
CD- RW	三菱化学メディア株式会社、株式会社リコー



ここではDVDユニットをご使用の際に寄せられる良くある質問についてお答えしております。参照したい項目をクリックしてください。

本製品がまったく認識されません。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されません。

セットしたメディアが認識されません。

サスペンドモードから復帰できません。

DVD-RAMのアクセス時にエラーが発生します。

メディアの書き込み時にエラーが多発します。

パソコン上でDVDビデオが再生できません。

特定のDVD-ROM / CD-ROMをアクセスできません。

DVD-RAMに書き込みができません。

Windows XP, 2000でDVD-RAMがフォーマットできません。

DVDユニットを使用して作成したDVDビデオが市販のDVDプレーヤーで再生できないのですが？

ブランクのDVD+R, DVD-R, DVD+RW, DVD-RWメディアをセットすると、マイコンピュータやエクスペローラ上でAudio CDとして認識されてしまいます。

Q >>>>

question

本製品がまったく認識されません。

A >>>>

answer

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。

電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

USB 2.0 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？また、使用 OS のバージョンに問題はありますか？

本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。

「デバイスマネージャ」を起動して、「ハードディスクコントローラ」に「！」マークなどがついていないかどうかを確認してください。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

USB バスパワー動作に問題がある場合は、付属の AC アダプタで電源供給して確認してください。

Q >>>>

question

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されません。

A >>>>

answer

ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

Q >>>

question

セットしたメディアが認識されません。

A >>>

answer

裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？

Q >>>

question

サスペンドモードから復帰できません。

A >>>

answer

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

Q >>>

question

DVD-RAM のアクセス時にエラーが発生します。

A >>>

answer

DVD-RAM は汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってみてください。
メディアの不良も考えられます。別のメディアで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生する
DVD-RAM のデータをバックアップして、フォーマットからやり直してください。

Q >>>

question

メディアの書き込み時にエラーが多発します。

A >>>

answer

適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「使用環境について」をご参照ください。

Q >>>

question

パソコン上で DVD ビデオが再生できません。

A >>>

answer

CinePlayer は正しくインストールされていますか？

リージョンコード「2」以外の DVD ビデオを再生しようとしていませんか？ これは日本以外の国を対象とした

DVD ビデオですので、本製品では再生できません。

リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

Q >>>

question

特定の DVD-ROM / CD-ROM をアクセスできません。

A >>>

answer

そのメディアは Macintosh 用の CD-ROM (HFS フォーマット) ではありませんか？ 本製品では Macintosh 用の CD-ROM はアクセスできません。

そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つ DVD ビデオではありませんか？ そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生できません。

Q >>>>

question

DVD-RAMに書き込みができません。

A >>>>

answer

正常にフォーマットされたDVD-RAMを使用していますか？ 本製品付属の「DLA」でフォーマットを行ってください。

Q >>>>

question

Windows XP , 2000 でDVD-RAM がフォーマットできません。

A >>>>

answer

管理者権限をもつユーザーとしてログオンしていますか？

Q >>>>

question

DVD ユニットを使用して作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できないのですが？

A >>>>

answer

市販の DVD プレーヤーの中には、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW の各メディアに対応していないものもあります。ご使用の DVD プレーヤー - のカタログ・取扱説明書などをご確認ください。

Q >>>>

question

ブランクの DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW メディアをセットすると、マイコンピュータやエクスプローラ上で Audio CD として認識されてしまいます。

A >>>>

answer

「DLA」がインストールされていない場合、OS がブランクの DVD メディアを正常に認識できず、「Audio CD」として認識してしまいます。

本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROM から「DLA」をインストールすることによって、「Audio CD」として誤認識されることはなくなります。

使用環境について

パソコン本体

本製品は各社のDOS/Vパソコン、およびNEC PC98-NXシリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

USBポートを搭載していること。
(DVDビデオの作成・再生には接続先のポートがUSB 2.0に対応していること)

以下のCPUを搭載していること。

- ・ DVDビデオを作成する場合 Pentium III 700MHz以上のCPU
(CinePlayerを使用してCPRM技術で保護されたDVDメディアの再生を行うためには、インターネット接続環境が必要です)
- ・ ビデオを再生する場合 Pentium II 350MHz以上のCPU
(PowerDVDを使用してCPRM技術で保護されたDVDメディアの再生を行うためには、インターネット接続環境が必要です)
- ・ PCデータの書き込み/バックアップを行う場合 Pentium III 450MHz以上のCPU

以下のメモリを搭載していること

- ・ DVDビデオを作成する場合 128MB以上のメモリ
- ・ ビデオを再生する場合 64MB以上のメモリ
- ・ PCデータの書き込み/バックアップを行う場合 64MB以上のメモリ

ハードディスクに10GB以上の空き容量があること(20GB以上を推奨)。

CD-R、CD-RWへの書き込みを行う場合は800MB以上

できるだけ高速なCPU / 大容量メモリ / 大容量HDドライブを搭載した環境での使用を推奨します。

対応OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用できません。

Windows XP HomeEdition/Professional

Windows 2000 Professional

当社DOS/V対応製品は、一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能です。で、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

ご注意

- ・ USB 2.0インターフェースカードを使用して本製品を使用する場合、書き込み時には、その他のPCカードに接続されている機器を同時に使用しないでください。
- ・ 本製品は日本電気株式会社PC-9800シリーズでは使用できません。
- ・ 最新の情報につきましては、弊社ホームページをご参照ください。

オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

PCIバス用USB 2.0インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2VA	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP,Me,98,2000対応

CardBus対応USB 2.0インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2HB	CardBus	インターフェースカード単体 Windows,Mac OS X 10.3以降対応

上記インターフェースボードに接続した場合はUSBバスパワーでは動作しません。
付属のACアダプタを利用し、接続してください。

ハードウェア仕様

機種名		LDR - PMB8U2
ローディング方式		トレイ方式
バッファメモリ		2MB
インターフェース		USB 2.0 High-Speed (USB 1.1 互換)
コネクタ形状		USB シリーズ B
書き込み 速度	DVD-RAM	5 倍速
	DVD+ R 2 層	2.4 倍速
	DVD+ R 1 層	8倍速、6 倍速、4 倍速、2.4 倍速
	DVD+ RW	8 倍速、6 倍速、4 倍速、3.3 倍速、2.4 倍速
	DVD- R	6 倍速、4 倍速、2 倍速、標準速
	DVD- RW	6 倍速、4 倍速、2 倍速、標準速
	CD- R	24 倍速、20 倍速、16 倍速、10 倍速、4 倍速
	Ultra Speed タイプ CD- RW Ultra Speed+ タイプ CD- RW	24 倍速、20 倍速、16 倍速、10 倍速
	High Speed タイプ CD- RW	10 倍速、4 倍速
	Multi Speed タイプ CD- RW	4 倍速
読み込み 速度	DVD- RAM Ver 2.2	最大 5 倍速
	DVD- RAM Ver 2.1	最大 3 倍速
	DVD- ROM (1 層)	最大 8 倍速
	DVD- ROM (2 層)	最大 6 倍速
	DVD ビデオ (CSS 有り)	最大 4 倍速
	DVD + R 2層、DVD - R 2層	最大 6 倍速
	DVD+RW、DVD-RW	6倍速
	DVD+ R、DVD- R	最大 8 倍速
	CD- ROM、GD- R、CD- RW	最大 24 倍速
記録方式	DVD+ R	Sequential write方式
		Multi Session方式
	DVD- RAM DVD+ RW	Random Write方式
		Disc at once方式
DVD- R	Incremental recording方式	
	Multi Border方式	

*1 DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。記載されている速度は全てUSB 2.0 (High-Speed) での使用時のものです。CDメディアをUSB 1.1接続で使用する場合、書き込み・読み込みともに8倍速未満に制限されます。

*2 設定速度に対応したメディアをご使用ください。
*3 5倍速での書き込みを行うためには5倍速対応のDVD-RAMメディア「5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0」が必要です。
3倍速での書き込みを行うためには3倍速対応のDVD-RAMメディア「3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0または、5倍速対応のDVD-RAMメディア「5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0」が必要です。

注：ver 1.0の2.6GB、5.2GBメディアは対応しておりません。

*4 カートリッジに入ったDVD-RAMメディアは、使用できません。カートリッジから取り出して、使用してください。

記録方式	DVD- RW	Disc at once方式	
		Restricted Overwriting方式	
		Incremental Recording方式	
		Multi Border 方式	
CD- R CD- RW	Track at once方式 / Disc at once方式		
	Session at once方式 / Packet write方式		
記憶容量	DVD- RAM Ver 2.1 以降	片面ディスクで 4.7 GB 両面ディスクで 9.4 GB	
	DVD+ R 2 層	片面ディスクで 8.5 GB 以下	
	DVD+ R 1 層、 DVD+ RW DVD- R、DVD- RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下	
	CD- R CD- RW	80分ディスクで 700 MB 以下 70分ディスクで 650 MB 以下	
平均アクセスタイム	DVD-RAM	210 ms	
	DVD-ROM	130 ms	
	CD	110 ms	
最大データ転送速度 (I/F) *5		480 Mbps	
メディアとの最大 データ転送速度 *5	DVD- ROM	最大 10800 KB / s	
	CD- ROM	最大 3600KB / s	
DVD - ROM 関係	フェーズ	フェーズ 2	
	リージョンコード	2 (固定)	
	OPRM	対応	
環境条件 *6	動作時	温度	10 °C ~ 35 °C
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 °C ~ 50 °C
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz	
消費電力 (定格)		8 W *7	
外形寸法 幅 × 奥行き × 高さ		142 x 172 x 17.5 mm *8	
質量		350 g *9	
設置方向		水平/垂直	

*5 理論値

*6 ただし、結露なきこと

*7 ACアダプタ含む

*8 横置き時、突起部を除く

*9 本体のみ

保証とサービスについて

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、**次ページの「ユーザーサポート窓口のご案内」**をご参照ください

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、「テクニカルサポートセンター」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。(修理に代わって同等品と交換させていただく事があります)なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。

ユーザーサポート窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

お問い合わせの際に次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称/シリアル番号（保証書に記載されています）

ご購入年月日、ご購入先

テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8 ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～18：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話はご利用になれません。

郵送または宅配便にて修理依頼される場合のお願い

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りもりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

修理品送付先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック（株）修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL：0265-74-1423 FAX：0265-74-1403

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）